

自律神経失調症

患者様情報

来院されるまでの症状

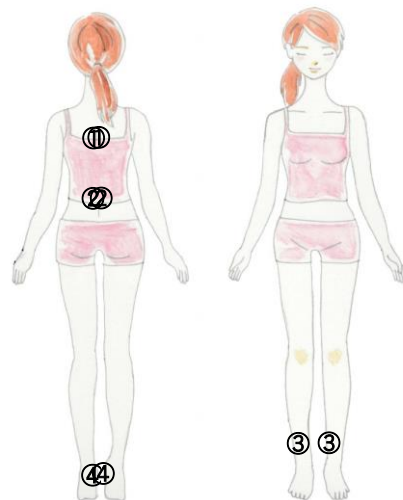
- ・数年前から会社を設立するにあたり、準備などでストレスが溜まるようになりました。
- ・同じ時期に両親の体調が悪くなり、不安も抱えるようになっていました。
- ・睡眠薬を飲んでも寝れなくなり、毎日マッサージやエステを受けながら日々をしのいでいました。 ・その内に、高血圧、膀胱炎、便秘、冷えのぼせ、生理不順、食欲低下、不眠症、鬱などの症状が出始めて、多量の薬を服用するようになりました。
- ・薬の副作用で肝臓の数値が悪くなり、病院での治療が難しくなったため、来院なさいました。

患 者 様	30 代
初 診	2019 年 7 月
既 往 症	頸椎ヘルニア、動脈硬化症
他 の 症 状	首肩こり、冷え性

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・初診時は、冷えのぼせがひどく興奮した様子でした。
- ・不眠症のせい首肩、背中に緊張がみられました。
- ・緊張が抜けない首肩、背中に刺激の弱い鍼で施術をしました。
- ・足先の冷えには、三陰交に優しいお灸を据えました。
- ・不眠症に特に効き目のあるツボ（「失眠④」）に熱さを感じるまでお灸を据えました。



■ 初診後の経過

- ・治療後、冷えのぼせが落ち着き、夜も熟睡できたそうです。
- ・数回の治療を重ね、生理が始まり、食欲も出て、その他の症状に改善がみられました。
- ・現在は、仕事の忙しさや、人間関係のストレスで体調が不安定で波があるため、週に1回、症状によっては週に2回来院されています。

使用した主要なツボ

- * ①心兪(シンユ) ②大腸兪(ダイチョウユ) ③三陰交(サンインコウ)
④失眠(シツミン)

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・自律神経失調症は、患者様により症状が多岐にわたります。
- ・今回のケースでは精神面に加え、内臓器のトラブルも多く現れていました。
- ・薬の飲みすぎで、肝臓の数値が悪くなり、現代医療では治療が難しい症状も、鍼灸の治療では副作用なしで治療出来ます。
- ・鍼灸治療は自律神経の調節を得意とします。自律神経失調症などのさまざまな症状を落ち着かせて、正常に戻すことが期待できます。